常磐毎日新聞　夕刊　八月廿三日

生活刷新の指導婦人
養成の爲め宿泊講習
舊城跡湯殿山の事務所に
各分區の幹部一名宛出席

地方における『中堅婦人養成及生活刷新指導者養成講習會』は九月四日から六日迄三日間に亘り愛國婦人會縣支部主催の下に平市舊城跡湯殿山事務所に宿泊開催されるが講師は愛國婦人會本部職員並びに佐藤新興生活館講師其他で科目は

▽愛婦の指導精神と活動の實際、分會組織と其運用、生活刷進の原理並に實際

で現下非常時局に鑑み一般婦人の時局認識を深め戰時体制における國民生活を刷新しこれを實踐強化するため開かれるものであると、尙平市では各分區より役員一名宛出席の豫定で目下物色中の由

多客季を控へて
旅行調整を強化
滿員列車の事故頻發
平驛が旅客强行統制

平驛では殺人的旅客の激增を緩和すべく本省の指令に基き本年度に入つてから中等學校生徒、小學兒童の修學旅行を調整し好成績を擧げてゐたが、最近旅客は依然として激增の一途を辿り本月中旬から臨時急行仙臺—上野間一本を增設されたが盆過ぎの昨今でも旅客が減らず列車といふ列車は定員の二倍、これが爲滿員列車の事故が頻發してゐる憂ふべき狀態にたち至つてゐるので、新秋の多客季を目前に控へて旅客の强行統制による大手術が必須で先づ手初めた生徒兒童の旅行調整を左の如く更に一段と强化することになつた、即ち

（一）單なる見學旅行は一切認めず、集團勤勞野外演習その他眞に心身の鍛錬、品性の陶冶に資する旅行に限る

（二）日程は三日以內に限る、但し演習、勤勞その他訓練のため特に同地に繼續宿營の要ありと認めたる場合はこの限りに非らず

なる綱則で臨むことになつた

逆戻りの暑さも
出穗には上々吉

平地方は數日來眞夏に逆戻りして連日猛暑が續き街行く人々は皆暑い〳〵を連發してゐるが、これは太平洋の高氣壓が內地の南方を襲ひ出したゝめで出穗の天氣としては上々吉、早魃で植付けのおくれた處は先頃の冷氣で多少影響を受けたものゝ一般的にはまづ申分ない天候でこの分なら雷雨はあつても九月一日の二百十日は先づ心配なしだといふ、然しこの暑さも今日あたりを峠としてそろ〳〵涼氣を增し秋への歩みをすゝめるであらう！とは小名濱測候所の觀測である

勇士の遺家族
就職を斡旋
萬全を期す平紹

平職業紹介所では今次聖戰に散華した管內における勇士の遺族並に出征軍人家族の就職斡旋をし銃後の萬全を期してゐるが未だ同所が力瘤を入れてゐる割合には求職者がすくなくこの所一寸手持無沙汰の体である

戰傷勇士
奉公杖傳達

銃報平市では今二十三日午前九時から平商業學校教官少尉市內杉平麻原吉五郎、市內幕ノ內寺島榮治兩氏に對する戰傷奉公杖の傳達式を擧行した

念佛の寄附
赤井村大字西小川字田頭部落の若連左記十四名は舊盆に當り新盆の家庭でヂヤンガラ念佛供養をなして受けた謝禮金十四圓六十錢をそつくり忠靈顯彰基金に寄附した

田邊正、西山德正、田邊福三、佐藤安秀、鹽田淸、鈴木仁司、猪狩正江、鈴木一利、杉內竹安、平澤好江、芳賀三平、岡部中三、平澤一郎、吉田千惠

池底堀下
平商の勤勞

平商業學校の第二次勤勞奉仕は二十八日から三日間三年以上の上級生徒によつて行はれるが前回に掘き市內松ケ岡公園の池底深ひで約一尺を堀下げることになつてゐる

一、十五年度豫算追加の件

小川江會議

小川江筋組合では明二十四日午前十時から平岡休事務所で臨時總會を開き左記事項を附議する

一、共有積立金運用の件

一、前管理者岩淵森次氏に對し慰勞金贈呈の件

平市鄕軍の武道
二日間に亘つて開催

平市在鄕軍人聯合分會の武術大會は八月三十日（射撃）、九月一日（銃劍術、軍刀術）の二日間いづれも午前八時から開催されるが會場は射撃が神谷村東部射撃場、銃劍術、軍刀術が第一校講堂である

尙出場選手は一種目十名宛三十名、合計百五十名が榮冠を目ざし熱戰を展開する筈で盛會を豫想される

新盆に寄附
平市關宜町植松淺治氏は亡父の新盆費用を節約して得た金十圓をこの程市銃後奉公會へ寄附した

長橋町が
防疫勵行
豫防劑服用

平市長橋町は最近腸チフス患者續出しその數相次ぎ十餘名（內二名死亡）に及ぶので大恐慌を來し山田衛生區長其他衛生世話役は全戶に洩れなく豫防ワクチンの服用を激勵する事になり本日から活動を開始したが更に川角常會長と圓つて常會の當日平署又は平市役所の衛生課員を迎へ防疫講演を乞ふて一般の注意喚起に努むると共に近く講演其他の大消毒を敢行すると

藝妓の送り迎へ
斷然廢止す
ガソ節約に大斧
足の具体案

平署では緊迫安課からの通牒によりガソリン强化のためいよ〳〵我々の足となるバス、物資輸送のトラック、病院其他の救急用貸切車などを除いた自家用及び娛樂用ハイヤーに大鉈を加へることになり目下具体案を急いでゐる、即ち藝妓の送り迎へや享樂方面の夜間便用宴會通ひなどは斷然廢止し、市內の貸切りも特別の事情ある場合に限り許可し其他は歩いてもらはうといふ强硬方針でこの方法により九月一日から約四割節約の成績をあげげる計畫である

供出米督勵
渡部署長行脚
完了に一段と馬力

平署では政府の供出米について居るが更に近く供出强調週間を定め割當數量全部の供出完了に一段と馬力をかけることになつた

小名濱 修築猛運動
內務省通過に力を得て
大藏省と企畫院へ

小名濱港第二期修築明成同盟會では既報の如く工事費三百萬圓が內務省議を通過し大藏省へ廻付されたので理事の小野小名濱町長以下役員數氏は今二十三日大藏省と企畫院と猛運動を行つた

平局優勝
遞信庭球戰

第四回仙臺遞信局管內從事員軟式庭球大會は二十二日午前十時から仙遞、仙貯兩コートで擧行され

百圓を献金
平市紺屋町呉服商渡邊善吉氏は舊盆中の諸費用を節約して得た金百圓をこの程市役所を通じ恤兵献金した

水戸、東京、横濱一巡記
支局長　小野　務平
（三）

▽橫濱市の　躍進振り△

午前五時に飛び起き急ぎ朝食を喫して六時中延驛に駈けつけ櫻木町行きの乘車券を買ふ、間もなく電車はホーム見かけて發進して來たので乘り込んだ、そして靜かに考ふると此電車の方向は大非玉川間の運轉である、然らば櫻木町は何行きに乘り換へればよいかと云ふ點に苦慮が湧いて來た。

今より七、八年前某會社關係で此線を盛んに乘り廻した事があるが、既に記憶からは離れて何驛が乘換いてよいやら判明しない、だが車窓に聞くも業腹だから聞かずに飛び降りたのが大岡山だ、人の行く手に續いて降りた時變だと思つて客係りに恥を忍んで初めて聞くと、何だ圓らん更に三ツ目の自由ケ丘乘り換へが便宜であると敎へて折角の早出も遂に間胡ついたなどは隨分滑稽至極である、聞くは一時の恥とたが平局から出張した高久——秋山組コンデーション頗るよく連戰連勝遂に制覇成り榮ある優勝旗並にカツプを獲得した

自由ケ丘から東橫線で澁谷、櫻木町間の運轉だから此れならば盲者でも櫻木町へ行けると安神した、丸子園、玉川滑流、何れもテウ昔の思出もある新丸子へちま風呂の一夕星三郎君との晩餐は十年を經たる今日生々しき感想を呼び起し當時に戻つて更に感慨を新にするものがある。

橫濱市電は躍進振り東橫電車會社の目のつけ所が實に奇拔であるに從服した、當てこの電車經營を見て磐城海岸軌道を改組せんと星君と手を握つて奔走したが事業に伴ふ種々雜多の障害はそれから〳〵と發生し遂に刑事問題まで進展したのが山で該問題は行きなやみとなつたが、日紫工場の設立と中野友禮氏の資本系統によつて現に軌道は改組せられ大なる衝動を與へて居るが、果して之れより一步前に改組されたでないかと云ふ確信もないではないが既に後の祭りであつた。

こんな古い過去を想起しながら途に橫濱驛に到着したと思ふと櫻木町驛を連呼して居るのであつた。

（終）

古川植田町長が
贈られた千圓を
鮫川疏水記念碑に寄附

鮫川疏水組合常設委員古川傳一氏は水路の完成を機に組合から慰勞金一千圓を贈られたがそつくり疏水竣工記念碑建設資金に寄附關係者を感激せしめてゐる

腹が減ては
魚が獲れぬ
水産會が增配陳情

鮫川疏水組合では燃料高騰に伴ひこの程入浴料一錢値上げして五錢にした

小名濱の湯錢値上
南町の湯屋組合では燃料高騰に伴ひこの程入浴料一錢値上げして五錢にした

喧嘩と早合点し
立話中の友人を毆る

校協の暗がりで友人の山邊常男君が南町自動車修繕工中野三郎（八）君外二名と立話中を喧嘩と早合点傍らにあつた石コロで中野君を毆打全治一週間の傷害を負せたものである

踏切で刎飛さる
通行中の老婆慘死

勿來町字飯岡叢小松正二郎氏母なみ（七〇）さんは二十二日午前八時頃常磐線鎭町地內の踏切を通行中列車にはね飛ばされて慘死した

平市人事

▽出生

△田町六三目下兵庫縣川道郡圖田村字戶內二一三鉛木章夫氏二女啓

ラヂオ

今晚の部

▼後六、〇〇 子供の時間 ラヂオ見學「タイ國めぐり」石尾市太郎「ドイツ航空界は如何にして建設されたか」山本峰雄

▼後七、二〇 鄕土に寄する言葉（實地家）法學博士大川周明

▼後七、三〇 國民歌謠「用心づくし」指導杉山長谷雄

▼後七、四〇 中支より

▼後八、〇〇 吹奏樂

▼後八、二五 夜局を聽く 文化放送

▼後八、三〇 講演「支那近代史」民族史（二）拓殖大學教授宮原民平

▼後九、〇〇 時事解說

▼後九、三〇 朗讀「思案のひとつき」（三）

明日の部

▼前六、三〇 吹奏樂・橫須賀海兵團軍樂隊・東京逓信局より中繼 海軍々樂隊

▼前七、〇一 物語「支那近代史」民族史（二）拓殖大學教授宮原民平

▼前七、四一 管樂アンサンブル

▼前八、〇一 小學生の時間 お話「太郎と花子の遠足」樫葉勇 唱九、四五 幼兒の時間 ラヂオ紙芝居「アイウエオ」佐藤芝居 前一〇、〇〇 衛生メモ 惡習慣 前一〇、二〇 家庭の時間「空地を利用しませう」鈴木靜穗

▼後〇、〇五 土曜コンサート 一〇、一〇 物語「白衣の婦人」二、歌劇「ラボエーム」東京放送管絃樂團指揮 池鶴

▼後二、一五 不撓不屈の時間 後三、〇〇 歸人の時間 時局社會見學

▼後五、三〇 洋樂鑑賞 レコード交響曲「第四番變（短調）」ハイドン 作曲 ロンドン交響樂團（指揮）ヘンリーウツド（解說）齋藤弘

▼後六、〇〇 子供の時間 物語「鉄持たぬ勇士」（四）鋤の戰士 楠健外

▼後六、二五 講演「我國人造工業石油の進歩」工學博士大島義清

▼後七、一〇 鄕土に寄する言葉 都市計畫東京地方委員會內務技師石川榮耀

▼後七、三〇 國民歌謠

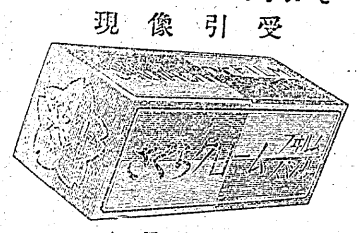
▼後七、四〇 講演 石黑忠篤

▼後八、〇〇 傷病將士慰問の夕 京都陸軍病院高野川分院より中繼

▼後九、〇〇 民謠めぐり（山陰の卷）福種作

▼後九、三〇 朗讀「黒潮の裏（中谷宇吉郎作）」館野アナウンサー

カメラ用品と
受引像現



お用命は
西村寫眞局藥屋部
平二・電3

盛夏!!!
（さんかつ專門の店）

興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します。
平市仲田町（電話四六五）

營業時間　自　午前十一時　至　午後十一時

かの家

お知らせ

一、此の度東都名流美容師を招きまして銃後女性に最も相應はしい永久性淑髪（パーマネント）を八月一日より始めましたどうぞ御利用下さいませ

一、毛髪を傷めぬ高級藥品を使用致しまして充分御滿足頂ける樣努力いたします

一、料金　毛先　三〇五〇
　　全髪　四〇〇〇
お好みにより部分的にもおかけいたします
平市田町五〔自宅電話三六八番〕

研美院

移轉御挨拶

殘暑の砌皆々樣益々御淸榮奉賀上ます
小店儀十一日より魚淸食堂筋向（三丁目一番地）に移轉從來の營業を專心勉强致すことになりました
何卒今後共倍し御引立下さいます樣切に御願ひ申します
先は取急ぎ御挨拶旁々御願ひ迄
昭和十五年八月
市內三丁目警察署通り
支那料理　華香亭
電二九二番

家庭と女性

軍服の美にみとれる

石島南枝

私にしばし〳〵
職服の袂にみとれる。

ことにこの頃、秋風の彼方に隠見する軍服に眼を投げてゐると、実如ビカリと眼を射るものがある、烈日にかゞやく勲章の光りなのだ。そんな時は悲愴な美を感じさせられる。

機動的な考慮、研究の結果に制定せられたものだとは承知してゐるながら、軍服を見る時、いつも新しく感じてしまふのである。

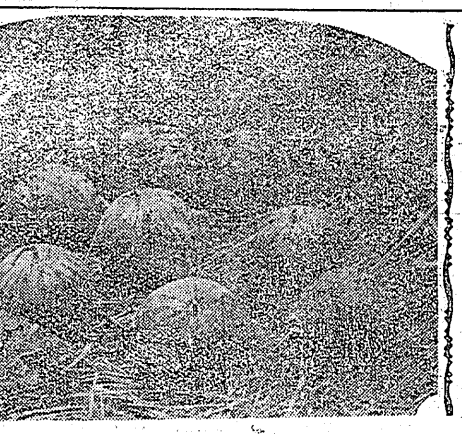
この美を常時に向ける、職人時代民主服装に関する種々論議が盛んに行はれてゐて、かうも美しく感じさせるものかと考へた事もあつたが、しかし職人会議にもつぎからいつても、相手次第で拘かされる個別の経験、感激を披瀝しても、他のどの職業人に対する場合とも少しも異なつてはゐないので、結局、美は美だ、と断言してしまへるのである。

美しい服装に生きて、同一の職業になり切れるといふことがこの軍服を更に華かに飾こなしてゐるのではないだらうか。

こゝで私は女の服装について再考三考させられるものがある。職業が本質的に向上してゆけば便宜的に合理化した服装をも、きつと美しく生かしてゆくが、できるだらうし、きつと女に最もふさはしい服装を、女の手で創り出してゆけるのだらうと思ふ。

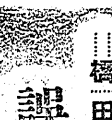
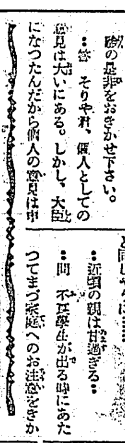
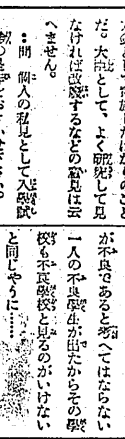
母の日

母の日のそなへかそれは別つとしていたま〻放つとき移ろひ、移ろふ安全かみそりには多いものです。これが因で疵がさびるのですからポマードを塗つておくことにしませう。



季節の魅力

誤解せる「入試復活」

大臣としてこれから研究

……橋田文相と教育問答……上